

# たまがわ びと

多摩川流域の水と緑に深く関わっている方から、お話を伺うコーナーです。

## 第6回

**早川 弘之さん** 多摩川に通うマルタ釣り愛好家で作る「多摩川森林組合」メンバー  
高津区在住、多摩川河川漁協組合員

# よみがえる清流

## 多摩川を60cm超のマルタが遡る。豪快マルタ釣り



早川さん(右)と丸太森林組合設立者西山雅也さん

「マルタ」から「丸太」へと連想を広げ「森林組合」とシャレた。マルタで今では全国に160名程の人と繋がりをもつ。近在でも30~40名の仲間が組合員と称する。

「渋谷まで電車で15分の川で、こんな大物が釣れる」。マルタと多摩川の魅力を広く知ってほしいと昨年4月、書籍「多摩川森林組合・マルタ釣りの考察」を発行した。メンバーが分担し、マルタの生態説明やエッセイを執筆した。

たとえば産卵期のマルタは、腹やヒレに婚姻色と呼ばれるこの時期特有のオレンジ色の線が美しい。そして、産卵はこの上なく感動的だ。「何匹ものマルタが1メートル以上の水しぶきを上げる。振動がこちらに伝わるくらい。生命の

躍動感、自然のエネルギーを間近で感じることができる。

マルタ釣りは1月から準備が始まる。週一の多摩川ウォーキングをしながら、「今年はどこに付く(卵を産む)か」を見極める。卵を産むのは河床の石が拳よりやや小さく、表面にコケや藻が付いていない浅瀬。遡上を確認すると、竿と自作のフライを持って川に向かう。

マルタを追うようにしてアユが川を上ってくる。真夏はウグイ、秋から冬にかけてはオイカワ釣りが面白い。「遠くまで行かなくても、たくさんの命をはぐくむ地元の川で遊び、好きになってほしい」。地元の小学生が授業でマルタを観察できないか。そのアイデアを練っている。

繋がる、広がる  
多摩川の輪

Vol.6

## 第10回 円筒分水スプリングフェスタ

2014年3月29日(土)12:00~15:00



久地円筒分水は、二ヶ領用水の水を下流の4つの用水路に正確に分配するための施設です。徳川家康の命により建設された二ヶ領用水は、上河原線と宿河原線が合流して、久地の円筒分水に至ります。この二ヶ領用水のかんがい用水を下流の耕地面積に応じて、4つの用水路に公平に分配します。この仕組みがすごいんです。現在の円筒分水は残念ながら徳川時代のものではなく、昭和16年に完成した最新式のものですが、平成10年に国の有形文化財に登録され、その歴史ある美しい姿が大切に保護されています。

毎年、円筒分水の広場では恒例の春のイベントが開催されています。地元の町内会や活動団体で構成される実行委員会が企画、実施するもので、伝統芸能の演奏や体験、団体によるブースや模擬店などでにぎわいます。

- 主なプログラム
- 12:00 ブース、模擬店の開店
  - 13:00 オープニング、子供太鼓演奏
  - 13:30 団体紹介
  - 13:55 琴、尺八の演奏と体験
  - 14:40 お囃子演奏

### 編集後記

今年の多摩川シンポジウムは平日の夜にもかかわらず、多摩川や、せせらぎ館に関心のある方が沢山集い、良いフォーラムができました。基調講演で田中先生がせせらぎ館の立ち位置を、しっかり認識することをわかりやすく話され、地元の多分野のパネラーから、意見を出せて、一つのキッカケづくりができたと思います。多摩川流域の水と緑に係る情報センター、また、多様な市民を多様な角度でつなげるセンターとして、多くの市民と共に、5年10年先を見据えながら活動してゆきたいと思ひます。 せせらぎ館スタッフ一同



### 二ヶ領せせらぎ館

- アクセス  
JR南武線・小田急 登戸駅 徒歩10分  
JR南武線 宿河原駅 徒歩15分  
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願ひます。
- 開園時間  
午前10:00~午後4:00  
6月~9月の土・日・祝日  
午前10:00~午後5:00
- 休館日  
毎週月曜日  
(月曜が祝日の場合はその翌日)